

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
812	観光振興事業	会計	01	一般会計	
		款	07	商工費	
44	資源もてなしの心を活かし、観光を振興する	項	01	商工費	
		目	03	観光費	
		細目	101	観光振興経費	
		細々目	01	観光振興経費	
担当部課名	産業振興部 観光振興課				
作成者氏名	山本 清	連絡先	22-9670		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	市内、市外(海外含む)の観光予定者・企画者及び伊賀市民	一人でも多くの対象者が、伊賀市のすばらしさを知りようになり、伊賀市に来ること。		
本年度事業内容	①(社)伊賀上野観光協会への観光振興事業の委託 ②(社)伊賀上野観光協会への観光案内所業務の委託 ③伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会への伊賀上野NINJAフェスタ事業の委託 ④上野城新能実施委員会への負担金			
開始年度	平成 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	3	3	3
	人件費合計(A)	21,600	21,600	21,600
②支出内訳(千円)	事業費(B)	56,262	52,416	49,481
	委託料	46,119	30,338	28,138
	負担金	1,849	2,000	2,000
	その他	8,294	20,078	19,343
	合計(A+B)	77,862	74,016	71,081
③財源内訳(千円)	特定財源		3,250	
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	77,862	70,766	71,081	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
各種媒体によるPR件数	件	30	40	50			
観光案内所利用者数	人	32,760	33,000	33,240			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
年間(暦年)の観光客入込客数	過去3年間の観光客入込客数実績平均を目標値に設定し、当該年度を評価。(実績データは県の観光レクリエーション入込客数推計書)	人	428,769 (94.7%) 目標 (453,000)	452,000	459,000
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

企画立案は観光行政で担い、具体的施策の実施は民間の観光協会等が担うことを原則に、業務委託方式により本事業を進めてきた。伊賀市への観光客は近年の旅行形態の変化などにより減少傾向にある。今後は、より効果的な観光情報の発信や観光イベントを実施するために、各観光協会の広域連携を進め、市町村合併の効果が発揮できる観光振興体制を新たに構築していくことが求められる。

評価	必要性	4	観光者の旅行形態が団体型から個人型に移行しており、同時に嗜好も多様化しているので様々なニーズへの対応が求められている。今後、より成果が期待できるよう慣例的に行うのではなく常に見直しを進め、観光客の誘致、経済波及効果、地域活性化に繋がる事業として継続していく。	総合評価
	有効性	4		B
	達成度	3		
	効率性	2		